

# 政策 3 「まち」を共に創る (地域づくり・協働)

## 施策 11 市民協働



### めざす姿

- 市民と行政が互いの特性を持ち寄り、目的や目標を共有し、お互いを尊重しながら、協働によるまちづくりが進んでいます。
- 地域が抱える様々な課題について、地域住民が自ら主体となって解決に取り組んでいます。

### 現状・課題

#### (1)オンラインの活用による交流機会の創出と参加の拡大

まちづくり市民活動への参加を増やすため、オンラインの活用による交流機会の創出により、これまで参加しなかった層への働きかけを行っていく必要があります。

#### (2)市民協働の重要性

地域課題や市民ニーズに迅速・的確に対応していくために、市民、市民活動団体、事業者及び行政が、それぞれの知恵や発想を出し合い、共にまちづくりを行う市民協働の取組がより一層重要になっています。

#### (3)地域活動の担い手減少、高齢化、固定化

市民の意識変化やライフスタイルの変化に伴い、地域活動の担い手の減少や、高齢化・固定化が進み、地域委員会の役割がさらに重要となっています。

#### (4)自治会活動の縮小傾向

昨今、多くの自治会では高齢化や定年延長に伴い役員の担い手が不足しているほか、コロナ禍での感染予防意識の高まりから活動が縮小傾向にあり、運営上の負担軽減や、個人のライフスタイルに合った参加しやすい仕組みづくりが求められています。

#### (5)地域活動の環境整備

ふれあいセンターと生涯学習センターは、地域住民の交流と地域づくり活動拠点としてICT環境整備が求められています。また、施設の老朽化への対応や、施設の複合化などを計画的に進める必要があります。

## 成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
市民協働の満足度(アンケート結果)	91.7% (2022)	UP
過去1年間に地域活動に参加したことがある市民の割合 (アンケート結果)	54.0% (2022)	80.0%

## 取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	市民のまちづくりへの参画を促進します。	●●●●	○ (仮称)新まちづくり市民会議の開催 まちづくり講演会 ファシリテーター養成 ◇ オンラインによる交流機会の提供
	地域課題を解決する市民活動団体やNPO法人を支援します。	●●●	市民活動助成金 市民活動センターの運営 ソーシャルビジネス支援
	地域委員会の活動を促進し、住民自治を推進します。	●●●●	地域づくり支援交付金 地域支援職員の派遣 地域の魅力づくり施設整備補助金 ○ 地域委員会の振興計画の見直し
	自治会活動への支援を行うとともに、加入率の向上を目指します。	●●●	自治会コミュニティ活動奨励金 自治会未加入者及び転入者への啓発活動 ○ 自治会活動のデジタル化の推進(電子回覧板の導入等)
	地域住民の交流と活動の場を整備します。		生涯学習センター及びふれあいセンターの改修 ○ 倉知ふれあいセンターの改築(倉知小の複合化) ○ ICT環境の整備(Wi-Fi整備等)

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。  
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



地域委員会

## 関連計画

○地域振興計画(各地域委員会の活動計画)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

## めざす姿

- 若者が集い、若者のアイデアによるまちづくりが進んでいます。
- 男性の家庭参画が進み、働きたい女性が望む働き方を実現するなど、女性がいきいきと活躍しています。

## 現状・課題

### (1)働きたい女性の社会進出支援

本市では、女性が活躍できる職場づくりに取り組む事業所等を「女性が働きやすい職場」として認定する制度を平成 30(2018)年度に創設し、働きたい女性にとって有益な情報になっています。

### (2)男性の主体的な家庭参画促進

働きたい女性が、家庭において過度な負担を抱えることなく安心して働き続けることができるよう、男性の育児休業取得促進や、家事及び介護などの家庭参画を促すための啓発や支援が必要です。

### (3)女性が輝く場の創出

近年は、趣味や特技を生かした商品やサービスを提供する場として、主に女性が出店するマルシェが注目されています。今後、出店者の起業意欲向上のほか、各分野で活躍する女性を広く市民に知ってもらい、応援する機運が高まることが期待されています。

### (4)まちづくりの担い手となる若者への効果的なアプローチ

これからのまちづくりは、若年層の積極的な参画が重要であり、まちづくりプレーヤー登録制度などにより、志のある若者を支援する体制を整えています。

今後は、さらに多くの若者がまちづくりに参画する手段を検討する必要があります。

### (5)まちづくりにおける大学や高校との連携

本市には、大学や専門学校、市立・県立高校などが立地しています。多くの学生がまちづくりに参加することで市政に関心を持ち、郷土をよくしたいという意思が育まれていくことが期待されています。



VS プロジェクトの活動



新規店舗開業者

## 成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
女性・若者活躍の満足度(アンケート結果)	90.3% (2022)	UP
高校生まちづくり事業実行件数(企画の実行件数)	8件 (2021)	12件
女性が働きやすい職場認定事業所数	32件 (2021)	50件

## 取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	働きたい女性が、希望する働き方を実現できる取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●●</li> <li>●</li> <li>●</li> <li>●●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の活躍推進セミナーの開催</li> <li>女性が働きやすい職場認定制度</li> <li>○ 男性・女性の育児休業取得促進に向けた企業向け啓発</li> <li>◇ みんなの就職サポートセンター及びビジネスサポートセンターとの連携</li> </ul>
	男性の家庭参画を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男性の育児休業取得促進のための啓発</li> <li>○ 男性の主体的な家事参加促進のための講座開催</li> </ul>
	女性が輝くことができる場を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 女性が輝くマルシェ開催支援</li> <li>○ 関係機関との連携による女性の起業支援</li> <li>○ 女性によるまちづくり市民会議の開催</li> <li>○ 女性対象の公式SNSによる情報発信</li> </ul>
	まちづくりへの若年層の参加を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●●</li> <li>●●</li> <li>●●</li> <li>●</li> <li>●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生まちづくり事業(VSプロジェクト)</li> <li>若者まちづくり団体・まちづくりプレーヤー登録制度</li> <li>◇ 3市連携・高校生まちづくり探究活動交流会</li> <li>若者チャレンジ支援コーディネーターの配置</li> <li>○ 若者対象の公式SNSの作成</li> <li>古民家「あいせき」の活用、せきららゼミ開催</li> </ul>
	大学や高校と連携し、学生の力をまちづくりへ生かします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>●●</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 大学連携(インターンシップ、共同研究、フィールドワーク)</li> <li>◇ 大学、高校生によるまちづくり政策提言機会の確保</li> </ul>

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。  
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

## 関連計画

○関市女性活躍推進計画



## めざす姿

○必要なコミュニティや生活機能等が維持・確保され、住み慣れた地域で安心して生活できています。

## 現状・課題

### (1)外部活力の導入

過疎地域の活性化を図る観点から、外部人材に活躍してもらう機会が必要です。

引き続き、地域おこし協力隊員を受け入れ、産業振興や地域づくりに関する活動に従事してもらいながら、当該地域への定住を図る取組が必要です。

### (2)暮らし・買い物支援

集落支援員は、過疎地域での日々の暮らしや買い物に困難を抱える高齢者等を支援するなど、重要な役割を果たしています。一方で、集落支援員の担い手確保が課題となっています。

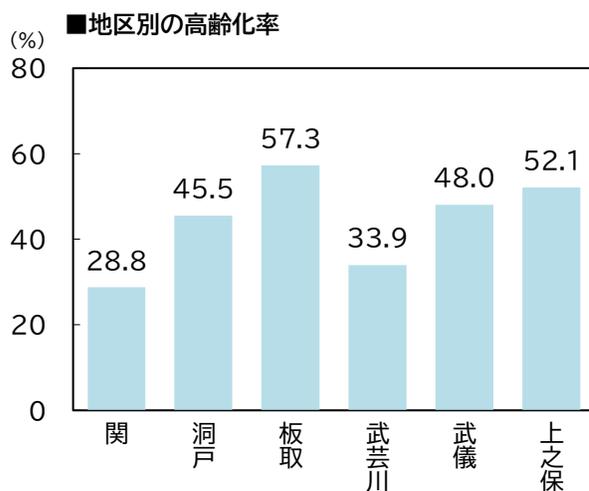
### (3)過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行

令和3(2021)年4月の新過疎法の施行を受け、過疎地域(洞戸、板取、武儀及び上之保の地域)の将来に向けた持続・発展を目的とした関市過疎地域持続的発展計画を策定しました。

今後は本計画と整合性を図りながら、過疎対策事業を推進していく必要があります。

### (4)地域が持つ豊かな自然を生かした地域愛の醸成

豊かな自然は市民の誇りであり、本市の宝となっています。引き続き地域資源の掘り起こしを進め、地域振興につなげることが求められています。



資料:国勢調査(令和2年)

## 成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
過疎対策・地域振興の満足度(アンケート結果)	78.8% (2022)	UP
地域への移住者数(空家バンクを利用し移住した人数)	19人 (2021)	50人
地域おこし協力隊の定住者数(地域おこし協力隊の任期後の定住者延べ人数)	4人 (2022)	8人

## 取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	外部人材を活用し、地域の活性化を図ります。	● ●	◇ 地域おこし協力隊の配置 ◇ 地域おこし協力隊の起業支援
	集落への「目配り役」を配置し、高齢者等の見守りや生活支援を行います。	● ●	◇ 集落支援員の業務範囲拡大による活動促進 ◇ 民生委員や社会福祉協議会との連携による巡回戸別訪問
	交通手段、鳥獣被害などの日常生活への不安を解消できるよう進めます。		◇ 関市過疎地域持続的発展計画に基づく取組の推進
	地域資源の価値を見直すとともに、新たな資源を発掘します。	●	地域の宝磨き上げ事業の実施

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。  
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



地域おこし協力隊

## 関連計画

- 関市過疎地域持続的発展計画(2021~2025)
- 山村振興計画(2015~2024)
- 辺地計画(2018~2022)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

# 施策 14 多様性社会（ダイバーシティ）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## めざす姿

○性別や国籍などに関わらず、多様な市民がまちづくり活動に取り組み、自分らしく豊かに暮らしています。

## 現状・課題

### (1)ジェンダー平等の実現

本市では男女共同参画セミナーの開催により、ジェンダー平等への意識付けを行ってきました。今後は、男女が家庭、地域、職場、学校のあらゆる分野の立案から決定までの場に、対等な立場で参画する機会が確保されることが必要です。

### (2)性の多様性への理解促進

本市では、平成 28(2016)年に宣誓した「LGBTフレンドリー宣言」の取組として、性的少数者がパートナーシップ宣誓したことを市が証明する制度を令和4(2022)年度に導入しました。今後も当事者への支援だけでなく、市民の理解を深める取組を継続することが必要です。

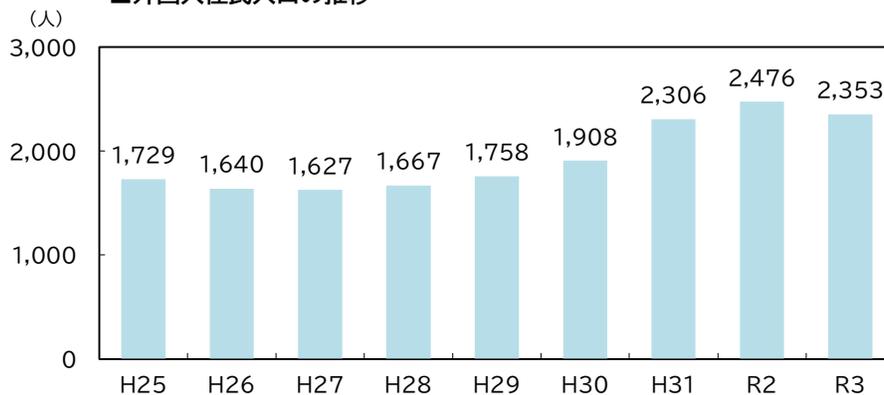
### (3)国際交流・多文化共生の推進

社会のグローバル化が進むなか、国際交流の推進や多文化共生に関する理解を深めることの重要性が高まっています。市民の国際感覚や異文化を理解し尊重する意識を醸成することが必要です。

### (4)外国人住民の増加、多国籍化

言語や文化の違いにより、在住外国人は日常生活の様々な場面で困難を感じています。特に災害などの緊急時において、在住外国人に対する避難のサポートは課題となっており、情報伝達手段の確立が必要です。

外国人住民人口の推移



資料:市民課

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

## 成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
ダイバーシティの満足度(アンケート結果)	90.5% (2022)	UP
各種委員会等への女性登用率(各種審議会・委員会への女性登用率)	23.3% (2022)	35.0%
男女の地位が平等であると感じる割合(アンケート結果)	15.4% (2021)	45.0%

## 取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	市民のジェンダー平等への理解を促進します。		男女共同参画セミナーの開催 男女共同参画意識の啓発 ◇ 政策・意思決定の場における女性登用の推進
	性の多様性を重視する社会を目指します。	● ● ●	LGBT理解に対する啓発 出前講座やセミナーの開催 ◇ 性的少数者及びアライを対象とした交流会の開催 ◇ パートナーシップ宣誓制度の運用
	日本人と外国人との交流機会の充実を図ります。		国際理解の啓発 国際交流協会の活動支援
	在住外国人に対し、生活上のサポートを行います。	● ●	ブラジル人相談員の配置 広報せきの翻訳 多言語通訳サービスの導入 ◇ 緊急時(災害・コロナ禍)における在住外国人及び雇用企業への情報伝達 ◇ 多言語や「やさしい日本語」による情報発信

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。  
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



ダイバーシティ SEKI シンポジウム

## 関連計画

○第3次せき男女共同参画まちづくりプラン(2019~2028)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

## めざす姿

○互いを認め合い、尊重し合うことにより、あらゆる差別のない社会が実現しています。

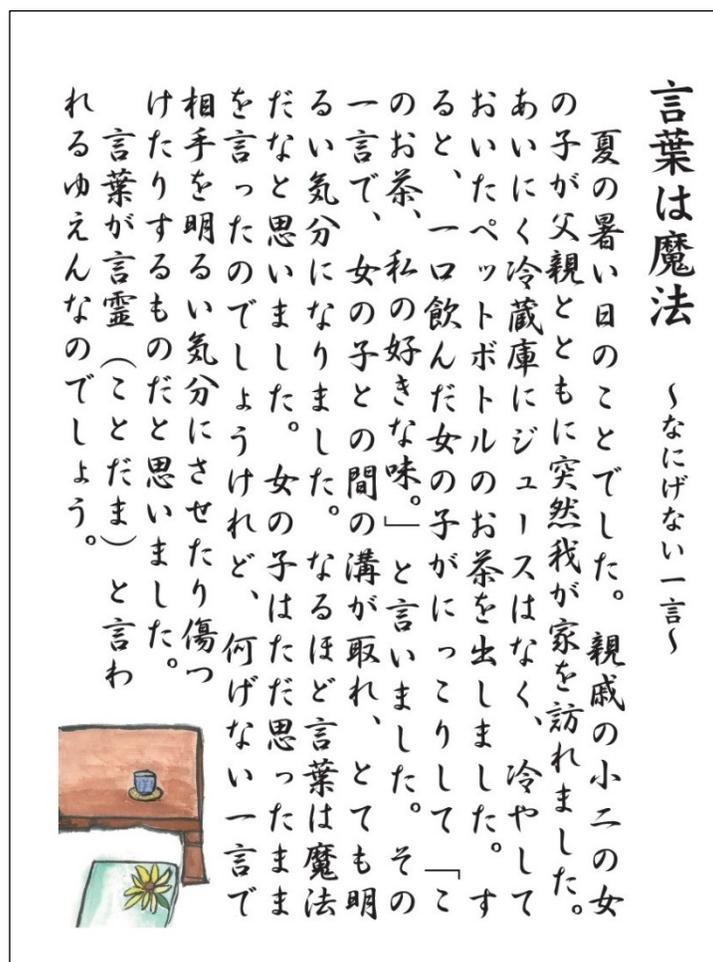
## 現状・課題

### (1) 社会情勢の変化による新たな人権問題

人権はすべての人が生まれながらに持っている権利であり、一人ひとりが幸福な人生を送るために保障されるべきものです。しかし、未だに偏見や差別による人権侵害の問題が存在しており、特に近年では感染症に関する差別や、SNSを通じたいじめなど、社会情勢の変化により新たな人権問題が発生しています。

### (2) 人権相談の充実

人権擁護委員による市の人権相談窓口においては、多様化する相談案件に対応するため、関係機関とのさらなる連携強化が重要です。



ちょっといい話

## 成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
人権の満足度(アンケート結果)	93.1% (2022)	UP
イベントへの参加人数(人権講演会への参加者数)	55人 (2021)	240人

## 取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	人権教育及び啓発を行います。		人権講演会の開催 街頭啓発の実施 職員人権研修会の開催 広報紙、ホームページなどを活用した啓発 ◇ 人権に関する講座開催の推進(家庭教育学級等)
	人権に関する相談の機会を充実します。		人権擁護委員による人権(悩みごと)相談支援

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。  
 「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



人権講座

## 関連計画

○第2次関市人権教育・啓発に関する基本計画(2017~2026)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

### めざす姿

○子どもから高齢者までの全てのライフステージにおいて、誰もが自分の意思によって生き生きと学んでいます。

○市民一人ひとりが学習の成果を社会生活に生かしながら、生きがいを持って暮らしています。

### 現状・課題

#### (1)様々な学習機会の提供

「人生 100 年時代」が到来すると言われ、より豊かに生きるための生涯学習が求められています。本市の各種講座受講者には偏りがあることから、ターゲット設定、開催日や時間帯、情報発信手段を再考する必要があります。

#### (2)学びと活動の循環

自己の学びが一過性のものにならないよう、学習の成果を仲間と共有したり、自己の学びを地域活動につなげることが求められています。

#### (3)図書館のリニューアル

多目的室を新設するなどリニューアルされた図書館は、世代や目的によらず誰もが気軽に利用でき、憩いや交流の場としての有効活用が期待されています。

#### (4)家庭教育支援活動の推進

子どもが健やかに成長するためには、親としての役割や発達段階に応じた関わり方を学ぶことが必要です。家庭教育学級は、子育てについて学び、悩みを相談する場としての役割を担っています。

#### (5)子どもと地域社会とのつながりの希薄化

子どもに対する地域住民の関心が希薄化しています。地域の子どもの健全育成のため、行事や社会奉仕活動への参加を促しながら、大人と子どもとのコミュニケーションを促進していくことが必要です。

#### (6)結婚を望む人への支援

本市の生涯未婚率は、年々上昇しています。未婚率の上昇は出生率の低下につながるため、今後も結婚を希望する人を支援する取組を進めていく必要があります。



生涯学習講座

## 成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
生涯学習の満足度(アンケート結果)	93.7% (2022)	UP
出前講座登録者数(生涯学習まちづくり出前講座(市民)登録者数)	117人 (2022)	143人
各種講座参加者数(生涯学習講座参加者数)	741人 (2021)	800人

## 取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	時代に合った多様な学習機会を提供します。		多様な公民館学習メニューの提供 自宅等で受講可能なオンライン講座の配信 ◇ ふれあいセンターでの巡回講座開催 大学連携による講座の開設
	自主的な学習活動を促進し、学習成果を地域活動につなげます。	● ● ● ●	いきいきフェスタの開催 ◇ 学習成果を共有・活用する場の拡充 ◇ 地域委員会との連携による人材活用の促進 生涯学習まちづくり出前講座の充実
	読書に親しむ機会を提供します。		蔵書の充実 電子図書館の充実 ○ 読書のまち宣言 ○ 多目的室の有効活用
	親が子育てについて学ぶ場を提供します。		乳幼児期家庭教育学級、家庭教育学級の運営 家庭教育支援事業コーディネーターの育成
	地域ぐるみの青少年健全育成活動を促進します。		少年センター、青少年健全育成協議会活動支援 子ども見守りボランティア活動 青少年育成市民大会の開催 ゴールデンウィークスペシャルの開催
	結婚を望む人への総合的な結婚支援を行います。	● ●	婚活アドバイザーによる結婚相談 ◇ 婚活イベント、セミナー開催

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。  
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

## 関連計画

○関市子どもの読書活動推進計画

## めざす姿

○市民一人ひとりが、ライフスタイルに応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいます。

## 現状・課題

### (1)市民ニーズに合わせたスポーツ活動の推進

各ライフステージにおいてスポーツに親しむことは、健康づくりや人との絆づくりなど多様な効果を発揮することから、各地域や年代のニーズに応じてスポーツ活動の機会を提供していくことが必要です。

### (2)トップアスリートとの交流機会創出

令和元(2019)年に南アフリカ代表チームがラグビーワールドカップの事前合宿を行い、市民と交流しました。このような交流は、市民の競技スポーツに対する認知度向上や、子どもたちが将来の夢を抱くきっかけとなることが期待されています。

### (3)スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援

市民が広くスポーツを楽しむためには、ボランティアや指導者の育成、並びに活動支援が必要です。今後、中学校等の部活動の地域移行を円滑に進めるためにも、地域の実情に応じた多様なスポーツ団体や人材が求められています。

### (4)スポーツ施設の老朽化

スポーツ施設の老朽化に伴い、緊急性の高いものから順次改修を行い、利用者の安全・安心を確保していくことが重要です。

### (5)スポーツによる地域活性化

地域に根ざしたスポーツを推進しながら、市内外から多くの人々が参加する魅力あるスポーツイベントを開催し、交流人口の拡大や地域活性化につなげることが求められています。

### (6)スポーツ施設の複合化及び集約化

市民の使用頻度が低いスポーツ施設については、今後の在り方を検討していく必要があります。



せきサイクル・ツーリング

## 成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
スポーツの満足度(アンケート結果)	94.0% (2022)	UP
大会・イベント参加者数(生涯スポーツ行事参加者数)	3,389人 (2021)	16,000人
成人の週1回以上の運動・スポーツの実施割合(アンケート結果)	54.0% (2022)	62.0%

## 取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	生涯スポーツ活動を促進します。		スポーツイベントの開催 世代やニーズにあわせたスポーツ教室の開催 スポーツ少年団の活動支援 総合型地域スポーツクラブへの支援 ○ 自宅で運動可能な動画サービスの提供
	競技スポーツを推進します。		スポーツ観戦の場の提供 選手の活動支援 中池公園施設の有効活用 ◇ トップアスリートと市民との交流の場の提供 ○ ねんりんピック開催
	スポーツ活動を支える人材育成及び組織の活性化を推進します。		スポーツボランティアの育成・活用 スポーツ指導者の育成、活動機会の創出 スポーツ推進委員の育成、活動促進 スポーツ協会の活動支援
	スポーツ施設的环境整備を進めます。		中池運動公園(アーチェリー場、弓道場など) 総合体育館 各スポーツ施設(LED照明整備・グラウンド整備など)
	スポーツによる地域活性化を推進します。	●	◇ 地域スポーツの振興(ラグビーフットボールフェスティバル・カローリングジャパンカップ開催等)
		●	◇ スポーツを通じた地域間交流の推進
	スポーツ施設の複合化や集約化を検討します。		○ グラウンドも含めたスポーツ施設の在り方の検討

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。  
 「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

## 関連計画

○第2期関市スポーツ推進計画(2022~2031)

### めざす姿

○市民のだれもが芸術文化に親しんでいます。

○市民共有の財産である歴史や文化財について、市民がその重要性を認識し、適切な保存、活用がされています。

### 現状・課題

#### (1)鑑賞・創作機会の充実

市民のニーズに合わせて質の高い鑑賞機会を提供するとともに、ワークショップやアウトリーチなど多様な手段により、普段は芸術文化に触れることのない市民にも豊かな感性を育んでもらう機会を提供していくことが求められています。

#### (2)芸術文化に関わる人材の確保とアーティストの育成

芸術文化の振興には、その活動の担い手となる人材や団体を確保・育成することは不可欠であり、芸術文化活動を行っている本市にゆかりのあるアーティストを支援することが求められています。

#### (3)歴史と郷土文化の保存、継承、活用

古来より伝わる文化財や伝統文化は、未来の市民に継承するために、行政、所有者・保持者及び市民が一体となって保存、活用していくことが必要です。また、ふるさと教育により郷土の文化や歴史に親しむことで、地域に対する愛着と誇りの醸成が期待されます。

#### (4)芸術文化施設の適正管理及び利便性の向上

本市には、合併により重複する芸術文化施設が複数あり、利用状況等を勘案しながら統廃合や複合化を検討していく必要があります。

また、施設利用やイベント参加について、スマートフォンなどから申込みができるサービスを導入するなど、デジタル技術の活用により文化施設の利便性を高める必要があります。



小学校アウトリーチ

## 成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
文化・芸術・歴史の満足度(アンケート結果)	93.7% (2022)	UP
過去1年間に芸術文化を鑑賞した市民の割合(アンケート結果)	33.6% (2022)	80.0%

## 取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	だれもが芸術文化活動に参加できる機会を充実します。		市民の劇場事業による多様なジャンルの公演開催 デジタル技術を活用した鑑賞機会の提供 文化祭、美術展、文芸作品展、俳句講座等の開催 子ども文化事業の推進 小中学校、幼・保育園、高齢者施設でのアウトリーチ事業 一流アーティストによるホールアウトリーチ事業 ○ 国民文化祭開催
	芸術文化を支える人材、団体づくりを推進します。	●	◇ アーティストバンク登録者の活動支援 文化協会活動支援 ● 文化地域コーディネーター育成事業
	歴史と伝統ある郷土文化の保存、継承、活用を図ります。	●	弥勒寺官衙遺跡群の保全・活用 指定文化財の保護 未指定文化財の把握 ● 小瀬鶴飼の保存活用計画に基づく調査・活用・継承 古町遺跡の活用 ● ふるさと文化財教育(塚原遺跡、弥勒寺遺跡群、小瀬鶴飼、関鍛冶、円空の学習) ● 市民・団体等における探求活動の発表の場づくりや活用
	芸術文化施設の適正管理及び利便性の向上を図ります。		◇ 各種文化施設の改修 ○ 文化施設の統廃合・複合化の検討 ○ チケットのオンライン販売システム導入

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。  
 「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

## 関連計画

- 関市文化振興計画(2017~2026)
- 弥勒寺史跡公園整備基本計画(2015~2033)
- 長良川の鶴飼漁の技術保存活用計画(2021~2025)※岐阜市との連携